

せるように”を指し、利用される方の気持ちに寄り添い、その方々にとって、どのような支援が安心して心豊かになるのかを一緒に考えながら支援を行ってまいります。

今年度もよろしくお願ひいたします。

### ビーンズにおける現状と課題について

ビーンズ  
管理者 服部 剛志

昨年度より、福島区にあるグループホーム「ビーンズ」のサービス管理責任者として、支援に携わってきましたが、今年度は新たに管理者兼サービス管理責任者として担当させていただくことになりました。管理者としては新人なので、力不足の部分も多々あるかと思いますが、改めてよろしくお願ひします。



現在、ビーンズでは3住居に合計16名(男性11名・女性5名)の利用者が生活を送られています。日中は福島育成園をはじめ、就労継続支援B型事業所など他のサービスを利用されています。平均年齢は53歳と高齢化が進んでおり、支援においても体調不良による通院介助や介護関係の手続きをする場面が多くなってきていることから、利用者の高齢化を肌で実感しています。将来、必要とされる支援は当然増えてくることになり、現在提供している支援のままでは、より豊かな生活を提供することが難しくなってきます。しかし、ビーンズの支援者数は福祉業界の人材不足の影響もあり、法定配置数で規定されている人数を何とか維持できている状態であり、各支援者は力のある限り努力はしていますが、提供できる支援も現状維持が精一杯で、なかなか利用者個々に応じた細やかな支援が行き届いていないのが現状です。その中でも利用者の希望されることにどこまで応えられるのか、限られた条件の中でどのような工夫をした支援ができるのか、改めて考えて実践していきたいと思ひます。

また、非常勤職員の募集も行っていますが、時間帯が生活支援という性格上、どうしても日中ではなく朝や晩、そして休日になるため、なかなか応募がありません。大変な仕事ではありますが、利用者の生活に寄り添うことができるやりがいのある仕事だと思ひます。希望される方がいればぜひ、お気軽にお問ひ合わせください。

今年度もよろしくお願ひ致します。

### 会員交流会を開催しました

3月15日に会員交流会と知的障がい疑似体験を行いました。1月のリーダー養成研修会の報告にも有りましたが、知的障がいへの理解が深まるよう、疑似体験による啓発活動を行うキャラバン隊を結成する育成会が全国に増えています。全国育成会連合会の久保会長も「キャラバン隊の活動を育成会の活性化事業として取り組んでもらいたい」とおっしゃっています。

この日は役員で結成しました「つなガル隊」(大阪市育成会のキャラクターのカンガルーにちなんで命名)が疑似体験を行い、第1部では見え方・聞こえ方の特徴や違いを参加された方々に体験して頂きました。第2部では何も知らされず「ガル語しか通じないガルガル王国」にいきなり連れてこられた事務局の道畑さんに、言葉が理解できない困り感を大いに味わって頂きました。

この後の交流会では、参加の皆様にご近況や日頃思っておられることを自由にお話し頂きました。また、疑似体験については「学習障がいの人は不思議な見え方をしていることを初めて知った」「地域の小学校で疑似体験を紹介してもらって、知的障がいの理解につなげてほしい」等のご意見も有りました。

今回は、東成育成園の焼き菓子と港育成園のパンを頂きながら楽しいひと時を過ごしました。また次回の交流会にもご参加頂きますようお待ちしております。



### 平成30年度年間行事予定について

日程	行事名称
4月20日(金)	近畿ブロックリーダー養成研修(大阪府)
5月13日(日)	大阪市障がい者スポーツ大会【ボウリング】(弁天町グランドボウル)
5月19日(土)	大阪市障がい者スポーツ大会【卓球】(長居障がい者スポーツセンター)